

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-165	小学校	生活科	生活	第1・2学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	生活 107 生活 108	せいかつ上 みんな なかよし せいかつ下 なかよし ひろがれ		

1. 編修の基本方針

子どもたち一人一人が、自立し生活を豊かにしていくことを願って、生活における見方・考え方を生かして、本来、もっている能力を十分に発揮しながら、生活科で育てる資質・能力を達成できるように、以下のような教科書にすることを編修の基本方針としました。

1. 生活科で育成する資質・能力を引き出し、発揮する教科書

育成する資質・能力を「サイコロ」のアイコンに

生活科の教科目標から、六つの「力」を抽出し、サイコロにあてはめました。各活動において、特に、発揮すると効果的な「力」を、各小単元に配しています。子どもたち自身が、その「力」を意識して活動することで、自らその資質・能力を引き出し、高めていくことができます。また、先生にとっても活動のめあてになります。

目次に、生活科で育てたい「資質・能力」を明示しています。

保護者のみなさまへ

生活科は、体験を通して、自分自身、身近な人々、社会、自然について、一体的に学ぶ教科です。特に、この教科書では、本来、子どもたちにそなわっている

6の力を
ひき出すことを大切にしています。

きづく

生活科の教科目標

①きづく

②じぶんでできる

③かながえる

④つたえる

⑤ちようせんする

⑥じしんをもつ

何を学ぶか
(知識・技能の基礎)

どのように学ぶか
(思考力・判断力・表現力等の基礎)

何ができるようになるか
(学びに向かう力・人間性等)

当社ウェブサイト
閲覧用のアドレス、
マークなどが入る。

当社
QRコード
入る

▲ 上 p.6 下 表紙裏

各小単元名の横にあります

最初にサイコロが出てくる
ページで、よびかけています

▲ 上 p.16-17

2. 「思考力」を育み、「主体的・対話的で深い学び」へと導く教科書

振り返りの時間「なにをかんじたかな」

何を感じ、どのようにしたいか、これからの学習や生活をどう創り上げていくかななどを、じっくりしっかり考えるページを設けました。活動のポイントとなる場面で振り返り、次の目標をもつことで、子どもたちの自信や意欲を育みます。

以下の振り返りを、繰り返し、一体に行うことで、主体的・対話的で深い学びへと導きます。

- 言語活動、身体表現、カード、新聞、作文等のさまざまな方法で表現すること
- 友達や先生と対話すること
- 学びの軌跡を残すために、書き込み欄にメモをすること
- バロメーター「まんぞくハシゴ」で達成感や意欲を図ること

ときには、一人でじっくり考え…

ときには、身体をつかって…

心のつぶやき

▲ Up.20-21

「まんぞくハシゴ」を登っているキャラクターよりも、自分の思いは上か下かを比べて、自己評価をします

ときには、友達と会話して考え…

声に出したつぶやき

教師がつぶやきを、見取ることを例示

ときには、悶々と試行錯誤…

3. 幼児期で育んだ学びを小学校の教育課程へとつなぐ教科書

幼児期における遊びを通した総合的な学びを、生活科や他教科等における学習に円滑に移行し、より自覚的な学びに向かうことができるように、学びのスタートを提案しています。

上巻の導入を絵本で | 上 表紙裏～p.5

期待と不安でいっぱいの新1年生たち。まずは、幼児期から親しんだ絵本で、生活科の学習に入っていきます。この絵本は、弊社「国語」1年上、第一教材と同一です。生活科では、「なかよしの木」を『気付き』の象徴として、これからの学習で、たくさんの発見をしてもらうことを願っています。

第3場面には、本書で、振り返り活動のバロメーターとなる「ハシゴ」が登場します



「スタートカリキュラム」の提案

入学から、徐々に学習へと移行する、「スタートカリキュラム」を提案しています。ゆっくりスタートし、「安心して、楽しく、確実に」小学校生活へとつなげていきます。誌面下部には、イラストで「幼児期の終わりまでに育てほしい10の姿」の一例を示し、上段には写真で、イラストと同じ場面の学校生活を掲載しました。この3場面で、幼児期の学びが、学校生活や教科学習につながっていることを表しています。

幼児期に習得した習慣を生かして、
ゆっくり安心して
学校生活をスタート！

幼児期に体験した遊びを、
ゆっくり楽しく
教科学習へ！

幼児期に体験した技能を生かしながら、
ゆっくり確実に
学校生活へ！

▼ Up.8-9



▼ Up.10-11



▼ Up.12-13



10の姿

4. 生活科と他教科をつなぐ教科書

合科的・関連的な指導を積極的にする「学びのポケット」

生活科の学習に必要な習慣や技能を、子どもたちが自らくり返し活用できるよう巻末にまとめています。

そして、それぞれの項目に、合科や関連をすると学習効果が高まる教科を配しました。

生活科で身につけた資質・能力を他教科等で発揮したり、他教科等で身につけた資質・能力を生活科で発揮したりすることができます。



▲ Up.127



▲ Tp.117

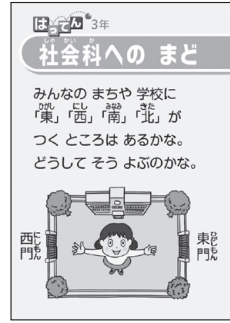
5. 生活科で育んだ資質・能力を中学年以降へつなぐ教科書

中学年以降の学習への見通しや期待がもてるように、「はってん」コラムや、各教科の学習を掲載したページを設けています。

随所に、コラム「はってん」を設け、理科や社会科へのエッセンスを示しています



▲ Tp.11



▲ Tp.29

下巻の巻末で、理科や社会科へのつながりを示しています



▲ Tp.112-113

2. 対照表

以下に図書の内容・構成と、教育基本法第二条の第1号から第5号との対応を示します。

上巻

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
(あ あれ わくわくが いっぱい)	●学校の施設や学校生活を支えているさまざまな人々や友達等に積極的にかかわる活動を通して、豊かな情操を養い、意欲的に、学校生活や学習に取り組むことができるように工夫しています。また、それらを通して、生活上、必要な習慣や技能、適切な行動や言葉遣い等を身につけ、豊かな情操と道徳心を培い、健やかな身体を養うことができるように配慮しています〈第1号〉	表紙裏～p.5
せいかつかが はじまるよ/目次(きょうから1ねんせい)		p.6～13
わくわくどきどきしょうがっこう		p.14～29
きせつと なかよし はる・なつ	●身近な自然を多様な方法で観察したり、それらの違いや特徴を見つけたり、それを生かして遊びを創り出す活動や資料を豊富に掲載し、自然の不思議さやおもしろさを実感し、自然を大切にし環境の保全に寄与する態度を養うことができるように工夫しています。〈第4号〉	p.46～59, p.72～91, p.104～117
きせつと なかよし あき	●公園を管理している人々や幼児など、公園を利用している人々とかかわる活動を通して、公園の役割に目を向け、公共への意識を育むように配慮しています。〈第3号〉	p.48～49, 74, 106
きせつと なかよし ふゆ	●友達と協力したりする活動を通して、相手の立場に立って物事を考えたり、お互いの意見を尊重してよりよい活動を創り上げるなど、自他の敬愛と協力を重んずることができるように工夫しています。〈第3号〉	p.87～89
きれいにさいてね わたしのはな	●継続して動植物を育てる活動を通して、それらが自分と同じように生命をもっていることや成長していることに気づき、動植物の生命の尊さを実感できるように工夫しています。〈第4号〉	p.30～45, p.62～71
なかよくなるうね 小さなともだち		
かぞくにここに 大きくな	●家庭における家族のことや、自分のあり方について考える活動を通して、自分の役割を積極的に果たそうとするなど、主体的に社会の形成に参画する態度を育てるように工夫しています。また男女平等に役割を設定するよう配慮しています。〈第3号〉	p.92～101
もうすぐ2年生	●自分の生活や成長について多様な観点から振り返る活動を通して、自分の価値に気づき、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うように工夫しています。〈第2号〉	p.118～126
全体	●外国人児童等、多様な人々とのかわりをイラストや写真で示し、他国を尊重し、国際平和と発展に寄与する態度を養うように工夫しています。〈第5号〉	全ページ

下巻

図書の内容・構成	特に意を用いた点や特色	該当箇所
わくわく 2年生/目次	●進級した自覚と喜びや、新1年生とかかわる活動を例示し、豊かな情操と道徳心を培い、健やかな身体を養うことができるように工夫しています。〈第1号〉	表紙裏～p.3
まちが大すき たんけんたい えがおのひみつ たんけんたい	●地域で生活したり働いたりしている人々と積極的にかかわる活動や、仕事を体験する活動を通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うように工夫しています。〈第2号〉	p.24～45 p.60～83
	●公共物や公共施設を利用する活動を通して、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことできるように工夫しています。〈第3号〉	p.36～37 p.44
	●さまざまな地域の暮らしや行事を掲載し、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養うように配慮しています。〈第5号〉	p.4～5, p.58～59, p.82～83, p.102～103
めざせ 野さい作り名人 めざせ 生きものはかせ	●継続して動植物を育てる活動を通して、それらが自分と同じように生命をもっていることや成長していることに気付き、動植物の生命の尊さを実感できるように工夫しています。〈第4号〉	p.6～23 p.46～57
作って ためして	●自分で動くおもちゃを作る活動を通して、見通しの大切さや見通しと違った場合の振り返りの大切さがわかるなど、幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養えるように工夫しています。〈第1号〉	p.84～101
あしたへ つなぐ 自分たんけん	●自分の生活や成長について多様な観点から振り返る活動を通して、自分の価値に気付き、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うように工夫しています。〈第1号〉	p.104～116
全体	●外国人児童等、多様な人々とかかわりをイラストや写真で示し、他国を尊重し、国際平和と発展に寄与する態度を養うように工夫しています。〈第5号〉	全ページ

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

①ユニバーサルデザイン（UD）による多様性への配慮

・カラーユニバーサルデザイン（CUD）や特別支援教育への対応

色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字（ユニバーサルデザインフォント）などの工夫により、すべての児童にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。

・「パラリンアート」の取り組み

さまざまな人々との共生について理解を深める観点から、障がいのある人が描いた作品（障がい者アート）を教科書に掲載することにより支援する、「パラリンアート」の活動にも取り組んでいます。



▲ 上 裏表紙の裏

▲ 下 裏表紙の裏

②地球となかよし

教科書の印刷には、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用し、地球環境への負荷軽減に配慮しています。

③堅牢な造本

- ・表紙には、コーティングを施し、汚れ等に強い堅牢な造本となっています。
- ・裏表紙の氏名欄は、型抜き加工がされているため、どんな筆記用具でも書くことができます。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-165	小学校	生活科	生活	第1・2学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	生活 107 生活 108	せいかつ上 みんな なかよし せいかつ下 なかよし ひろがれ		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

本書は、「なんだろう?」「どうしてだろう?」「もっと知りたい!」「やってみよう!」「わかるって楽しい!」「わたしてすごい!」を引き出すことに重点をおいて編修しています。子どもたち自らが、その思考力を思い切り発揮したくなる10の「しかけ」を施しました。

1. 「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」を「見える化」した構成

教科書構成を、3つの要素で編成し、区別がつくデザインにしています。これにより、活動の流れが明確になりました。【例】上p72～91「きせつとなかよし あき」

思考を伴う体験活動



▲ p.82-83

思考・表現活動



▲ p.90-91

活動と思考を支える資料



▲ p.76-77

2. 「見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫する」の思考スイッチをつくる

- ・「ヒント」では、諸感覚を使って「見付ける」、さまざまな観点から「比べる、たとえる、試す、見通す、工夫する」などを繰り返し掲載しています。
- ・「学びのポケット」では、対象を見る視点を座標軸で表現しています。(上p.128,下p.118)

「ヒント」：奇数ページの右肩に掲載(上p.19, 33, 35, 37, 39, 41, 49, 55, 65, 75, 107, 下p.13, 15, 29, 51, 93)



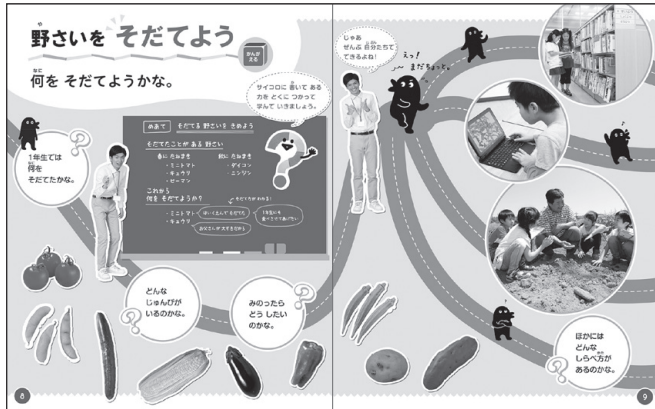
▶ 上p.34-35



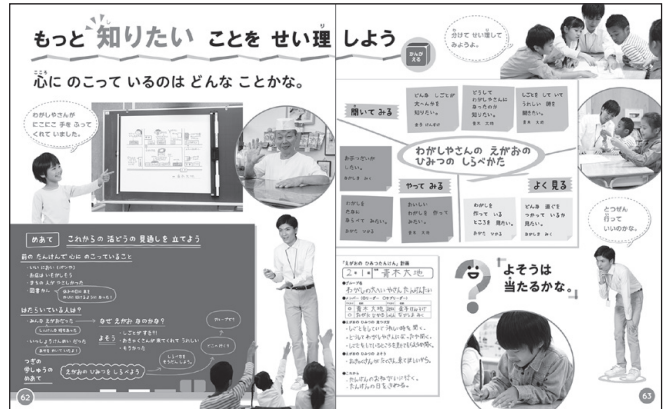
▲ 上「学びのポケット」 p.128

• 思考を組み立てたり、整理したりする活動を豊富に掲載しています。

(上p.82～83, 85, 下p.8～9, 62～63, 72～73, 92～93)



▲ 下p.8-9



▲ 下p.62-63 (付箋を使った活動)

3. 教科書の中に入り込んで学習するための「わたし」の設定

教科書をどんどん活用して、教科書の中に入り込んで学習することができるように、「わたし」を投影するキャラクターとして「いぐら」を採用しました。絵本のように入り込んで学習できるように、「いぐら」も子どもたちと同じ目線で試行錯誤して、一緒に学習します。



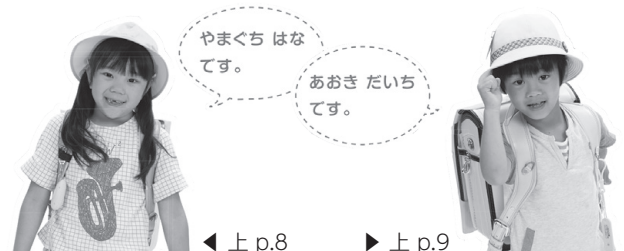
「いぐら」

絵本などで、子どもたちに親しみのあるキャラクター

◀ 下 p.4

4. 「わたし」の考えと、比較したりむすびつけたりして思考できる、二人の友達

上下巻の2年間を通して、「花ちゃん」「大地くん」の二人の友達が、一緒に学習をします。「なにをかんじたかな」(思考・表現活動ページ)の、二人のカード例や作文例、会話などに、自分の考えを照らしながら、思考ができます。



やまぐちはな
てす。

あおき だい
ち
てす。

◀ 上 p.8

▶ 上 p.9

5. 自信や意欲を高める「まんぞくハシゴ」

学習や生活をよりよくしていくために、教科書全体を貫いて、「ハシゴ」を学習の満足度をはかるバロメーターにしています。



▲ 上 p.5



▶ 上 p.27

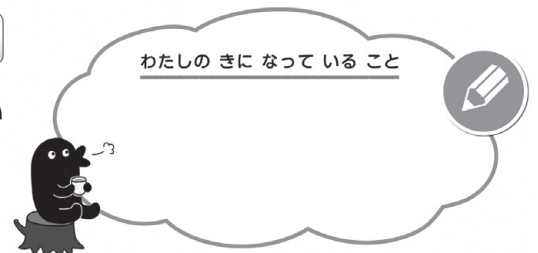


▲ 下 裏表紙の裏

6. 学びの軌跡を残す「空欄」

活動を見通したり振り返ったりする場面に、「空欄」を設けています。絵や言葉などで記し、学びの軌跡を残すことができます。(「なにをかんじたかな」ページのほか、上p87, 89, 下p73)

▶ 上 p.21



7. 気付きの質を高める「はてな」キャラクター

「しているだけ」の活動にならないように、活動の意義がわかり、気付きの質を高める言葉を、キャラクターが問いかけます。



▶ 上 p.50

「力と うごきの
かんけいは
わかるかな。」



▶ 下 p.92

8. 「知りたい！」を引き出すために、あえて答えのありかを示さない

自然の不思議さや面白さをクイズにしていますが、答えのありかを明示していません。教科書をていねいに見たり、図鑑で調べたり、実際にやってみたり…さまざまな学習展開を期待しています。

(上p53, 77, 下p22～23)



▶ 上 p.53

9. 予測困難な社会の変化に主体的にかかわる力を引き出す、『もしも』

本書では、自らの可能性を發揮し、よりよい社会と幸福な人生の創り手となることを願い、さまざまな「もしも」を問いかけ、低学年の子どもならではの豊かな発想を広げることが大切になっています。

(上p45, 71, 126, 下p45, 101, 116)

想像性と創造性をたくましく、よりよく豊かに生きよ
うとする資質・能力を育む



▲ 上 p.71



▲ 下 p.116

10. 思考力や活動意欲を高める、先生のかかわり方を例示

活動を意味づけ、価値づける、教科書上の先生

生き物や地域のことなどは、先生より子どもたちの方が詳しいことがあります。生活科は、ある意味、子どもたちと先生が対等な立場になれる教科です。教科書上の先生は、「どうしてでしょうね。」「次は、どうしたいですか。」「教えてくれてありがとう。」「など」と問いかけ、子どもたちの答えを引き出しています。

豊富な板書例

板書を通して、子どもたちの思考を「見える化」しています。

(上p.20, 99, 120, 下p.8, 62, 72)



▲ 上 p.14

▲ 下 p.27

さまざまな教育課題への配慮

■自然災害への配慮

避難訓練の様子や、災害時の施設、「おかしも」などの自ら身を守る方法を掲載し、自然災害への備えの意識を高めるように促しています。(Up.29, 49, 135, 下p.44, 134～135)

■防犯への配慮

「いかのおすし」などを掲載し、日常生活や家庭の中で防犯への意識を高めるように促しています。(Up.134)

■交通安全への配慮

安全な歩き方や、安全を守ってくれている人々などを掲載し、注意喚起をしています。(Up.28, 下p.29)

■衛生・健康への配慮

- ・「早寝、早起き、朝ごはん」への意識を促すイラストや教材を設定しています。(Up.61, 94～95, 96)
- ・随所に「手洗い・うがい」マークをつけています。特に、アレルギー反応への配慮が必要な場面には、別途、記載しています。(Up.44, 下p.88)
- ・危険な動植物は写真で掲載し、注意喚起をしています。(Up.53, 75)
- ・健康や安全を心がけるよう「やくそく」で、注意喚起をしています。(Up.49)
- ・食事や食物への関心を促すよう、野菜の栽培活動に、自分たちの食事とかかわりが深いダイズの「ミニ知しき」コラムや、食を意識した振り返りを掲載するなど、食育への配慮をしています。(下p.15, 19)

■障がいのある児童や外国人児童への配慮

上下巻を通して、車椅子の児童や外国人児童が、クラスの中で一緒に活動している写真やイラストを掲載しています。

■幼児、高齢者、外国人などさまざまな人々への配慮

上下巻を通して多様な人々とかかわりを例示しています。また、街にはみんなが暮らしやすい工夫がなれていることに気付くように配慮しています。(Up.48～49, 下p.37, 44)

■道徳教育への配慮

道徳科との関連をはかりながら指導できるよう、「やくそく」や「できるかな」のコラムを設け、学校や地域等、公共の場での約束やマナーを身につけることができるように配慮しています。(Up.17, 19, 23, 130, 下p.65, 123, 136)

■家庭への配慮

- ・目次ページに、保護者へのメッセージを掲載し、生活科の学習のねらいを明示しています。(Up.6, 下表紙裏)
- ・生活科の学習内容を家庭で話したり生かしたりできるよう、単元末に、家の人と交流するコラムを設けています。(Up.27, 43, 57, 69, 91, 101, 115, 125, 下p.19, 41, 55, 79, 97, 115)

■地域、伝統・文化への配慮

- ・地域の慣習や行事に目を向ける活動や資料を豊富に掲載しています。(Up.61, 103, 下p.4, 42～43, 58, 82, 102)
- ・地域の特色を生かした生活科の活動には、その旨を記載しています。(Up.105, 112)

■キャリア教育への配慮

さまざまな仕事をしている人々とかかわる活動を通して、仕事の意義に気づき、働く人へのあこがれをもてるように配慮しています。(下p.60～81)

■情報教育・情報機器 (ICT) への対応

- ・学習資料の動画にリンクするQRコードを設けています。タブレットなどで読み取り、随時、活用できます。(Up.34, 45, 53, 132, 133, 下p.15, 50, 128, 129)
- ・手紙、電話、ファクシミリの使用、パソコン (インターネット)、タブレットなどの、ICT機器を使用した活動を掲載しています。(下p.9, 13, 31, 51, 62, 70, 124, 126～127)

■環境教育への配慮

- ・動植物に触れ合う活動では、必要以上に採取しないよう呼びかけ、環境保全への意識を育むように配慮しています。(Up.50, 52, 下p.48)
- ・リユース、リデュース、リサイクルなど環境問題に関する資料を掲載しています。(下p.130～131)
- ・外来種について明記しています。(下p.49「アメリカザリガニ ミニ知しき」)

■持続可能な社会 (ESD教育) への配慮

動植物を育てたり、文化が異なる友達や人々とかかわったりする活動を通して、多様性を原動力に、質的豊かさを伴った個人と社会の成長につながる新たな価値を生み出すことができるように配慮しています。(Up.71, 下p.130～131, 101)

2. 対照表

上巻

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
(あ あれ わくわくが いっぱい)	(1) (4) (8)	表紙裏～7	4
せいかつかが はじまるよ／目次			
(きょうから 1ねんせい)	(1) (4) (8)	p.8～13	
わくわく どきどき しょうがっこう	(1) (4) (8)	p.14～29	16
きれいに さいてね わたしのはな	(7) (8)	p.30～45	10
きせつと なかよし はる・なつ	(4) (5) (6) (8)	p.46～61	12
なかよく ならうね 小さな ともだち	(7) (8)	p.62～71	10
きせつと なかよし あき	(4) (5) (6) (8)	p.72～91	14
かぞく に こ こ こ 大さくせん	(2) (8) (9)	p.92～103	10
きせつと なかよし ふゆ	(4) (5) (6) (8)	p.104～117	12
もう すぐ 2年生	(8) (9)	p.118～126	14
		計	102

下巻

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
わくわく 2年生／目次	(3) (5) (8)	表紙裏～p.5	3
めざせ 野さい作り名人	(7) (8)	p.6～23	10
まちが大すきたんけんたい	(3) (4) (5) (8)	p.24～45	14
めざせ 生きものはかせ	(7) (8)	p.46～59	10
えがおのひみつたんけんたい	(3) (4) (5) (8)	p.60～83	28
作って ためして	(6) (8)	p.84～103	20
あしたへ つなぐ 自分たんけん	(8) (9)	p.104～116	20
		計	105

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-165	小学校	生活科	生活	第1・2学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	生活 107 生活 108	せいかつ上 みんな なかよし せいかつ下 なかよし ひろがれ		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
上 11	りかへの まど こおりをつくってみよう。 どこにおけば できるかな。	1	第2 各学年の目標及び内容 2 内容 (6)	0.25
下 11	理科への まど なえは どう なっているのかな。ほかの しょくぶつも 同じかな。	1	第2 各学年の目標及び内容 2 内容 (7)	0.25
29	社会科への まど みんなの まちや 学校に「東」「西」「南」「北」がつく ところはあるかな。どうして そう よぶのかな。	1	第2 各学年の目標及び内容 2 内容 (3)	0.25
51	理科への まど 目は どこにあるのかな。足は 何本 あるのかな。ほかの 虫の 体は、どう なっているのかな。	1	第2 各学年の目標及び内容 2 内容 (7)	0.25
87	理科への まど じ石に くつつく ものは 何で できているのかな。	1	第2 各学年の目標及び内容 2 内容 (6)	0.25
131	生まれかわるよ	2	第2 各学年の目標及び内容 2 内容 (6)	0.25
合 計				1.5

(「類型」欄の分類について)

- 1 ……学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2 ……学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容